

【注意】

この計画書は記載項目をお知らせするもので、管理システム上の実際の申請画面とは異なります。管理システムの利用開始まで、これらの項目や文字数を参考に申請の準備を進めてください。
※このファイルを管理システムに直接取り込むことはできませんので、お手間をおかけしますが、項目ごとにコピーして貼り付けるか、直接管理システムに再度記載する必要があります。

※日本語で記載してください。ただし、固有名詞のアルファベットは認めます。

※コメント欄に留意点を記載しています。なお、派遣と受入で同類の質問については、原則、派遣のみに留意点を記載していますので、派遣を受入に読み替えてください。

※タイプBで申請するプログラムは、原則として、2020年度申請時に記載した内容を再掲してください。変更がある場合は、変更内容を記載し、「タイプB変更」欄に「○」を記載してください。

※セルの色について = 記載項目 = 自動反映のため記載不要

※ピンク色の文字は、項目に記載できる文字数の上限です。箇条書き等により改行を繰り返すと、文字数以内であっても、印刷時に内容が途中で切れてしまうことがありますので、ご注意ください。

プログラム形態	申請タイプ	通し番号	必須 2020年度採択プログラム番号	
			の該 み当 2019年度採択プログラム番号	
学校コード				学校所在地
国内学校名				国公立設置形態
コンソーシアム 国内参加校名 (該当の場合のみ記入) (500文字)				

1. プログラムの内容

プログラム名 (100文字)						
(1)プログラムの概要(要約) (700文字)						
(2)プログラムの実施計画全般						
プログラム期間(派遣学生・受入学生のプログラム参加期間)						
派遣	西暦		年		月～西暦	
					年	月
派遣最短日数				派遣最長日数		
受入	西暦		年		月～西暦	
					年	月
受入最短日数				受入最長日数		
1学期を満たす(派遣学生・受入学生の全員が1学期以上プログラムに参加する。)						
最短日数が90日未満、かつ1学期を満たさない場合、当該日数をもって1学期とする根拠を記載 (500文字)						
(3)本制度による支援希望						
派遣						
派遣先国 *複数ある場合は 半角カンマで区 切ってください。 (700文字)						
* 人月数は、各支援 希望学生の支援期間 を31日で割った月数 (小数点切り上げ)の 総数を、年度ごとに 記入してください。	地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計
	総派遣計画人数					名
	支援希望人数					名
	人月数(2021年度) 2021年4月～2022年3月分					人月
	人月数(2022年度) 2022年4月～2023年3月分					人月
人月数(合計)					人月	
受入						

在籍大学等所在国 *複数ある場合は 半角カンマで区 切ってください。 (700文字)								
* 人月数は、各支援 希望学生の支援期間 を31日で割った月数 (小数点切り上げ)の 総数を、年度ごとに 記入してください。	地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計		
	総受入計画人数						名	
	支援希望人数						名	
	人月数(2021年度) 2021年4月～2022年3月分						人月	
	人月数(2022年度) 2022年4月～2023年3月分						人月	
	人月数(合計)						人月	
(4)プログラムの参加対象								
派遣								
対象となる学生	対象となる在籍大学等の学部・学科・研究科					学年		
	学部・学科					第		年次
	研究科					M		
						D		
受入								
対象となる学生	対象となる在籍大学等の学部・学科・研究科					学年		
	学部・学科					第		年次
	研究科					M		
						D		
(5)プログラムの目的・達成目標 (750文字) 【タイプB変更不可】								
(6)プログラムの計画								
①必要となる語学力水準の設定(派遣部分について) (300文字) 【タイプB水準引き下げ不可】								
							タイプB 変更	
②参加学生(プログラムに参加する全学生)の学習(研究)内容(派遣部分について) (700文字)								
							タイプB 変更	
③参加学生(プログラムに参加する全学生)の学習(研究)内容(受入部分について) (700文字)								
							タイプB 変更	
④派遣先大学等における現地学生との交流計画(派遣部分について) (300文字)								
							タイプB 変更	
⑤受入大学等における日本人学生との交流計画(受入部分について) (300文字)								
							タイプB 変更	

⑥プログラムの全参加人数及び支援希望人数の計画の考え方 (300文字)							
							タイプB 変更
(7) 単位付与、成績証明書、修了証							
派遣							
①単位付与・単位認定・単位互換の方法 (250文字) (単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)							
							タイプB 変更
在籍大学等が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証		
派遣先高等教育機関が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証		
受入							
①単位付与・単位認定・単位互換の方法 (250文字) (単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)							
							タイプB 変更
在籍大学等が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証		
受入大学等が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証		
2. 実施体制							
プログラムの 責任者・代表者	所属課		氏名				
派遣							
(1)参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法 (250文字)							
							タイプB 変更
(2)派遣学生(支援希望学生)の選考基準 (250文字)							
							タイプB 変更
(3)参加学生に対する情報提供・生活支援等の支援体制 (250文字)							
							タイプB 変更
(4)管理体制、危機管理体制、プログラム実施に携わる教職員の国際経験 (400文字) (語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)							
申請書提出にあたり、プログラムの計画の申請にあたり、「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」(平成29年3月31日 大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン作成検討会)を十分に確認しています。							
							タイプB 変更
受入							

(1)参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法 (250文字)		タイプB 変更
(2)受入学生(支援希望学生)の選考基準 (250文字)		タイプB 変更
(3)参加学生に対する情報提供・生活支援等の支援体制 (250文字)		タイプB 変更
(4)管理体制、危機管理体制、プログラム実施に携わる教職員の国際経験 (400文字) (語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)		タイプB 変更

3. フォローアップ・成果検証の実施

(1)フォローアップ(派遣部分について) (250文字) 参加学生の派遣前、派遣後の効果測定や意識の変化の把握状況、参加学生・不参加学生の比較調査等、自己点検による成果確認		タイプB 変更
(2)フォローアップ(受入部分について) (250文字) 参加学生の受入前、受入後の効果測定や意識の変化の把握状況、自己点検による成果確認		タイプB 変更
(3)成果報告・発信 (200文字) 実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及		タイプB 変更
(4)機構が実施する各種調査への協力体制 (200文字)		タイプB 変更

4. プログラムの自立化・発展性・継続性

(1)フォローアップ・成果検証をプログラムの継続、発展のために活用し、自立的な改善を図る体制 (200文字)		タイプB 変更															
(2)派遣・受入計画																	
①プログラムの過去の実績																	
過去3年間の 当該プログラム 派遣・受入学生	2020年度	<table border="1"> <tr> <td>総派遣学生数</td> <td></td> <td>名 (内、本制度奨学金受給者数</td> <td></td> <td>名)</td> </tr> <tr> <td>総受入学生数</td> <td></td> <td>名 (内、本制度奨学金受給者数</td> <td></td> <td>名)</td> </tr> <tr> <td>プログラム番号</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)	総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)	プログラム番号				
	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)												
	総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)												
プログラム番号																	

実績数 (又は予定数) ※本制度奨学金受給者の実績がある場合は、プログラム番号(複数ある場合は半角カンマ区切り)を記載	2019年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		プログラム番号				
	2018年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		プログラム番号				
特にアピールすべき過去の実績 (125文字)						
②翌年度以降の実施計画 (140文字)						
③プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取り組み(奨学金の確保・実施経費の確保) (140文字)						

5. 協定等の情報

	全ての派遣先・連携先機関及び諸外国・地域の在籍大学等とは、協定等を締結済み、もしくはプログラム開始前に締結予定です。
	【協定派遣のみ】申請書提出にあたり、派遣先・連携先機関が、外務省の海外安全ホームページ上の「レベル2」以上に該当する地域になった場合は、学生を派遣しないこと、又、すでに派遣を開始している場合は、派遣学生としての資格を取り消すことに同意します。

派遣

派遣先・連携先機関

① 高等教育機関			校	
うち	協定内容	授業料不徴収・授業料免除		校
		生活支援・宿舍手配		校
		単位互換・単位認定		校

受入

諸外国・地域の在籍大学等

① 高等教育機関			校	
うち	協定内容	授業料不徴収・授業料免除		校
		生活支援・宿舍手配		校
		単位互換・単位認定		校

【注意】

この計画書は記載項目をお知らせするもので、管理システム上の実際の申請画面とは異なります。管理システムの利用開始まで、これらの項目や文字数を参考に申請の準備を進めてください。
※このファイルを管理システムに直接取り込むことはできませんので、お手間をおかけしますが、項目ごとにコピーして貼り付けるか、直接管理システムに再度記載する必要があります。

※日本語で記載してください。ただし、固有名詞のアルファベットは認めます。

※コメント欄に留意点を記載しています。

※タイプBで申請するプログラムは、原則として、2020年度申請時に記載した内容を再掲してください。変更がある場合は、変更内容を記載し、「タイプB変更」欄に「○」を記載してください。

※セルの色について = 記載項目 = 自動反映のため記載不要

※ピンク色の文字は、項目に記載できる文字数の上限です。箇条書き等により改行を繰り返すと、文字数以内であっても、印刷時に内容が途中で切れてしまうことがありますので、ご注意ください。

プログラム形態	申請タイプ	通し番号	必須 2020年度採択プログラム番号	
			の該 み当 2019年度採択プログラム番号	
学校コード				学校所在地
国内学校名				国公立設置形態
コンソーシアム 国内参加校名 (該当の場合のみ記入) (500文字)				

1. プログラムの内容

プログラム名 (100文字)						
(1)プログラムの概要(要約) (700文字)						
(2)プログラムの実施計画全般						
プログラム期間(派遣学生のプログラム参加期間)						
派遣	西暦	年	月	～西暦	年	月
派遣最短日数				派遣最長日数		
1学期を満たす(派遣学生の全員が1学期以上プログラムに参加する。)						
【(タイプA)1学期未満のプログラム・(タイプB)31日以内のプログラムのみ必須】 (400文字) 履修科目との一体化や事前・事後研修(派遣前後の準備講習・フォローアップを目的とした語学や専門科目の講義等との一体化等)により効果を高める取組						
事前・事後研修を実施する。						
						タイプB 変更
(3)本制度による支援希望						
派遣						
派遣先国 *複数ある場合は 半角カンマで区 切ってください。 (700文字)						
* 人月数は、各支援 希望学生の支援期間 を31日で割った月数 (小数点切り上げ)の 総数を、年度ごとに 記入してください。	地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計
	総派遣計画人数					名
	支援希望人数					名
	人月数(2021年度) 2021年4月～2022年3月分					人月
	人月数(2022年度) 2022年4月～2023年3月分					人月
人月数(合計)					人月	
(4)プログラムの参加対象						
派遣						

対象となる学生	対象となる在籍大学等の学部・学科・研究科		学年		
	学部・学科		第		年次
	研究科		M		
D					

(5)プログラムの目的・達成目標 (750文字) 【タイプB変更不可】

(6)プログラムの計画

①必要となる語学力水準の設定(派遣部分について) (300文字) 【タイプB水準引き下げ不可】

	タイプB 変更

②参加学生(プログラムに参加する全学生)の学習(研究)内容(派遣部分について) (700文字)

	タイプB 変更

③派遣先大学等における現地学生との交流計画(派遣部分について) (300文字)

	タイプB 変更

④プログラムの全参加人数及び支援希望人数の計画の考え方 (300文字)

	タイプB 変更

(7)単位付与、成績証明書、修了証

派遣

①単位付与・単位認定・単位互換の方法 (250文字)
(単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)

	タイプB 変更

在籍大学等が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証	
派遣先高等教育機関が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証	

2. 実施体制

プログラムの 責任者・代表者	所属課		氏名	
-------------------	-----	--	----	--

派遣

(1)参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法 (250文字)

	タイプB 変更

(2)派遣学生(支援希望学生)の選考基準 (250文字)

	タイプB 変更

(3)参加学生に対する情報提供・生活支援等の支援体制 (250文字)		タイプB 変更
(4)管理体制、危機管理体制、プログラム実施に携わる教職員の国際経験 (400文字) (語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)		
申請書提出にあたり、プログラムの計画の申請にあたり、「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」(平成29年3月31日 大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン作成検討会)を十分に確認しています。		タイプB 変更

3. フォローアップ・成果検証の実施

(1)フォローアップ(派遣部分について) (250文字) 参加学生の派遣前、派遣後の効果測定や意識の変化の把握状況、参加学生・不参加学生の比較調査等、自己点検による成果確認		タイプB 変更
(2)成果報告・発信 (200文字) 実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及		
		タイプB 変更
(3)機構が実施する各種調査への協力体制 (200文字)		
		タイプB 変更

4. プログラムの自立化・発展性・継続性

(1)フォローアップ・成果検証をプログラムの継続、発展のために活用し、自立的な改善を図る体制 (200文字)		タイプB 変更				
(2)派遣計画						
①プログラムの過去の実績						
過去3年間の当該プログラム派遣学生実績数(又は予定数) ※本制度奨学金受給者の実績がある場合は、プログラム番号(複数ある場合は半角カンマ区切り)を記載	2020年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		プログラム番号				
	2019年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		プログラム番号				
	2018年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		プログラム番号				
特にアピールすべき過去の実績 (125文字)						
②翌年度以降の実施計画 (140文字)						

(3)プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取り組み(奨学金の確保・実施経費の確保) (140文字)

--

5. 協定等の情報

	全ての派遣先・連携先機関とは、協定等を締結済み、もしくはプログラム開始前に締結予定です。
	【協定派遣のみ】申請書提出にあたり、派遣先・連携先機関が、外務省の海外安全ホームページ上の「レベル2」以上に該当する地域になった場合は、学生を派遣しないこと、又、すでに派遣を開始している場合は、派遣学生としての資格を取り消すことに同意します。

派遣

派遣先・連携先機関

		① 高等教育機関		校	
うち	協定内容	授業料不徴収・授業料免除		校	
		生活支援・宿舎手配		校	
		単位互換・単位認定		校	
		② 連携機関(高等教育機関以外)		校	
うち	協定内容	授業料不徴収・授業料免除		校	
		生活支援・宿舎手配		校	
		単位互換・単位認定		校	

【注意】

この計画書は記載項目をお知らせするもので、管理システム上の実際の申請画面とは異なります。管理システムの利用開始まで、これらの項目や文字数を参考に申請の準備を進めてください。
※このファイルを管理システムに直接取り込むことはできませんので、お手間をおかけしますが、項目ごとにコピーして貼り付けるか、直接管理システムに再度記載する必要があります。

※日本語で記載してください。ただし、固有名詞のアルファベットは認めます。

※コメント欄に留意点を記載しています。

※タイプBで申請するプログラムは、原則として、2020年度申請時に記載した内容を再掲してください。変更がある場合は、変更内容を記載し、「タイプB変更」欄に「○」を記載してください。

※セルの色について = 記載項目 = 自動反映のため記載不要

※ピンク色の文字は、項目に記載できる文字数の上限です。箇条書き等により改行を繰り返すと、文字数以内であっても、印刷時に内容が途中で切れてしまうことがありますので、ご注意ください。

2021年度海外留学支援制度(協定受入)計画書

様式1

プログラム形態	申請タイプ	通し番号	必須 の該 み当	2020年度採択プログラム番号	
				2019年度採択プログラム番号	

学校コード		学校所在地	
国内学校名		国公立設置形態	
コンソーシアム 国内参加校名 (該当の場合のみ記入) (500文字)			

1. プログラムの内容

プログラム名 (100文字)						
(1)プログラムの概要(要約) (700文字)						
(2)プログラムの実施計画全般						
プログラム期間(受入学生のプログラム参加期間)						
受入	西暦	年	月	～西暦	年	月
受入最短日数			受入最長日数			
1学期を満たす(受入学生の全員が1学期以上プログラムに参加する。)						
【31日以内のプログラムのみ記載】 (250文字) 履修科目との一体化・受入前準備講習・受入後フォローアップ講義等と併せる等により効果を高める取組						
					タイプB 変更	

(3)本制度による支援希望

受入

在籍大学等所在国 *複数ある場合は 半角カンマで区 切ってください。 (700文字)						
*人月数は、各支援 希望学生の支援期間 を31日で割った月数 (小数点切り上げ)の 総数を、年度ごとに 記入してください。	地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計
	総受入計画人数					名
	支援希望人数					名
	人月数(2021年度) 2021年4月～2022年3月分					人月
	人月数(2022年度) 2022年4月～2023年3月分					人月
	人月数(合計)					人月

(4)プログラムの参加対象

受入

対象となる学生	対象となる在籍大学等の学部・学科・研究科			学年	
	学部・学科		第		年次
	研究科		M		
			D		

(5)プログラムの目的・達成目標 (750文字) 【タイプB変更不可】

(6)プログラムの計画

①参加学生(プログラムに参加する全学生)の学習(研究)内容(受入部分について) (700文字)

	タイプB 変更
--	------------

②受入大学等における日本人学生との交流計画(受入部分について) (300文字)

	タイプB 変更
--	------------

③プログラムの全参加人数及び支援希望人数の計画の考え方 (300文字)

	タイプB 変更
--	------------

(7)単位付与、成績証明書、修了証

受入

①単位付与・単位認定・単位互換の方法 (250文字)
(単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)

	タイプB 変更
--	------------

在籍大学等が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証	
受入大学等が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証	

2. 実施体制

プログラムの 責任者・代表者	所属課		氏名	
受入				
(1)参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法 (250文字)				
				タイプB 変更
(2)受入学生(支援希望学生)の選考基準 (250文字)				
				タイプB 変更
(3)参加学生に対する情報提供・生活支援等の支援体制 (250文字)				
				タイプB 変更
(4)管理体制、危機管理体制、プログラム実施に携わる教職員の国際経験 (400文字) (語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)				
				タイプB 変更

3. フォローアップ・成果検証の実施

(1)フォローアップ(受入部分について) (250文字) 参加学生の受入前、受入後の効果測定や意識の変化の把握状況、自己点検による成果確認				
				タイプB 変更
(2)成果報告・発信 (200文字) 実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及				
				タイプB 変更
(3)機構が実施する各種調査への協力体制 (200文字)				
				タイプB 変更

4. プログラムの自立化・発展性・継続性

(1)フォローアップ・成果検証をプログラムの継続、発展のために活用し、自立的な改善を図る体制 (200文字)				
				タイプB 変更

(2) 受入計画					
①プログラムの過去の実績					
過去3年間の 当該プログラム 受入学生実績数 (又は予定数) ※本制度奨学金受給 者の実績がある場合 は、プログラム番号 (複数ある場合は半 角カンマ区切り)を記 載	2020年度	総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数	名)
		プログラム番号			
	2019年度	総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数	名)
		プログラム番号			
	2018年度	総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数	名)
		プログラム番号			
特にアピールす べき過去の実績 (125文字)					
②翌年度以降の実施計画 (140文字)					
(3)プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取り組み(奨学金の確保・実施経費の確保) (140文字)					

5. 協定等の情報

	全ての諸外国・地域の在籍大学等とは、協定等を締結済み、もしくはプログラム開始前に締結予定です。				
受入					
諸外国・地域の在籍大学等					
うち	① 高等教育機関			校	
	協 定 内 容	授業料不徴収・授業料免除		校	
		生活支援・宿舍手配		校	
		単位互換・単位認定		校	

【注意】

このプログラム実地・進捗状況は記載項目をお知らせするもので、管理システム上の実際の申請画面とは異なります。

管理システムの利用開始まで、これらの項目や文字数を参考に申請の準備を進めてください。



※このファイルを管理システムに直接取り込むことはできませんので、お手間をおかけしますが、項目ごとにコピーして貼り付けるか、直接管理システムに再度記載する必要があります。

※タイプBで申請する場合のみ記載してください。

※双方向協定型は派遣・受入両方、短期研修・研究型は派遣・受入のいずれかに記載してください。

※日本語で記載してください。ただし、固有名詞のアルファベットは認めます。

※コメント欄に留意点を記載しています。

※セルの色について  = 記載項目  = 自動反映のため記載不要

※ピンク色の文字は、項目に記載できる文字数の上限です。箇条書き等により改行を繰り返すと、文字数以内であっても、印刷時に内容が途中で切れてしまうことがありますので、ご注意ください。

海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)プログラム実施・進捗状況

プログラム形態	通し番号	2020年度プログラム番号(必須)	2019年度プログラム番号(該当のみ)
プログラム名			
学校コード		国内学校名	

1. 2020年度採択プログラム

2020年度採択プログラムの2020年10月1日現在における概況を記載してください。

プログラム期間 (派遣学生・受入学生 の プログラム参加期間)	派遣	西暦		年		月～西暦		年		月
	受入	西暦		年		月～西暦		年		月

派遣

2020年10月1日現在の状況を以下の①～③から1つ選択してください。

実施状況	
------	--

(1) 協定校とのプログラム内容(学習内容や現地学生との交流計画)、実施期間、派遣人数、単位付与等の調整について、実施・進捗状況を具体的に記載してください。(550文字)

--

(2) 派遣学生の募集、選考等、派遣学生の危機管理の対応、フォローアップ、成果検証の実施・進捗状況について具体的に記載してください。(550文字)

--

(3) 計画書の「1. (5)プログラムの目的・達成目標」に対する達成の見通しについて具体的に記載してください。(派遣部分について)(400文字)

--

受入

2020年10月1日現在の状況を以下の①～③から1つ選択してください。

実施状況	
------	--

(1) 協定校とのプログラム内容(学習内容や日本人学生との交流計画)、実施期間、受入人数、単位付与等の調整について、実施・進捗状況を具体的に記載してください。(550文字)

--

(2) 受入学生の募集、選考等、受入学生の危機管理の対応、フォローアップ、成果検証の実施・進捗状況について具体的に記載してください。(550文字)

--

(3) 計画書の「1. (5)プログラムの目的・達成目標」に対する達成の見通しについて具体的に記載してください。(受入部分について) (400文字)

2. 2019年度採択プログラム

(2020年度タイプB採択プログラムのみ)

2020年度タイプB採択プログラムの前年度(2019年度)採択プログラムの実施状況について、2020年10月1日現在における概況を記載してください。

プログラム期間 (派遣学生・受入学生 の プログラム参加期間)	派遣	西暦		年		月～西暦		年		月
	受入	西暦		年		月～西暦		年		月

派遣

2020年10月1日現在の状況を以下の②又は③から1つ選択してください。

実施状況	
------	--

(1) 2019年度採択プログラムの実施・進捗状況について具体的に記載してください。(550文字)

(2) 計画書の「1. (5)プログラムの目的・達成目標」に対する達成の見通しについて具体的に記載してください。(派遣部分について) (400文字)

受入

2020年10月1日現在の状況を以下の②又は③から1つ選択してください。

実施状況	
------	--

(1) 2019年度採択プログラムの実施・進捗状況について具体的に記載してください。(550文字)

(2) 計画書の「1. (5)プログラムの目的・達成目標」に対する達成の見通しについて具体的に記載してください。(受入部分について) (400文字)